ワンストップ特例申請書【記入例】

令和 年　寄附分　　市町村民税
道府県民税　寄附金税額控除に係る申告特例申請書

第五十五号の五様式（附則第二条の四関係）

提出日を記入してください。

令和〇〇年××月△△日
八代市長　殿

住　所	〒〇〇〇－〇〇〇〇 〇〇県△△市××町□□□	整理番号	
		フリガナ	ヤツシロ　タロウ
		氏　名	八代　太郎　印
		個人番号	1 2 3 4 5 6 7 8 9 1 2 3
		性　別	男
電話番号	〇〇〇－〇〇〇－〇〇〇〇	生年月日	昭和〇〇年△△月××日

必ず捺印をしてください。

個人番号（マイナンバー）を記入して下さい。

太枠内の項目（提出日、住所、氏名（ﾌﾘｶﾞﾅ）、性別、電話番号、生年月日）をすべて記入。

あなたが支出した地方[illegible]体に対する寄附金について、地方税法附[illegible]る寄[illegible]特例」という。）[illegible]の欄[illegible]

（注[illegible]合、申告特例対象年の翌年の１月10日までに、申告特例[illegible]い。

（注２）　申告の特例の適用を受けるために申請を行った者が、地方税法附則第７条第６項（第13項）各号のいずれかに該当する場合には、申告特例対象年に支出した全ての寄附金（同項第４号に該当する場合にあっては、同号に係るものに限る。）について申告の特例の適用は受けられなくなります。その場合に寄附金税額控除の適用を受けるためには、当該寄附金税額控除に関する事項[illegible]い。

寄附をした年月日、寄附金額を記入してください。
※同じ自治体に複数回寄附をした場合、その都度申請書を提出する必要があります。

１．当団体に対する寄附に関する事項

寄附年月日	寄附金額
令和〇〇年△△月××日	１０，０００円

２．申告の特例の適用に関する事項

申告の特例の適用を受けるための申請は、①及び②に該当する場合のみすることができます。①及び②に該当する場合、それぞれ下の欄の□にチェックをしてください。

①　地方税法附則第７条第１項（第８項）に規定する申告特例対象寄附者である	☑

（注）　地方税法附則第７条第１項（第８項）に規定する申告特例対象寄附者とは、(1)及び(2)に該[illegible]すると見込まれる者をいいます。

①と②どちらも該当する場合のみワンストップ特例の申請が可能です。

「確定申告をする必要のない」方が、ふるさと納税による寄附をした場合のみチェックをしてください。

[illegible]に対する寄附金を支出する年の年分の所得[illegible]出する義務がない者又は同法第121条（第[illegible]

[illegible]に対する寄附金を支出する年の翌年の４月１日の属する年度分の市町村民税・道府県民税に[illegible]該寄附金に係る寄附金税額控除の控除を受ける目的以外に、市町村民税・道府県民税の申告[illegible]当該申告書の提出がされたものとみなされる確定申告書の提出を含む。）を要しない者

②　地方税法附則第７条第２項（第９項）に規定する要件に該当する者である	☑

（注）　地方税法附則第７条第２項（第９項）に規定する要件に該当する者とは、この申請を含め[illegible]告特例対象年の１月１日から12月31日の間に申告の特例の適[illegible]が５以下であると見込まれる者をいいます。

令和元年(2019年)中に行う「ふるさと納税」の寄附先が5団体以下の方は、チェックをしてく

（切り取らないでください。）

令和 年　寄附分　　市町村民税
道府県民税　寄附金税額控除に係る申告特例申請書受付書

住　所	〇〇県△△市××町□□□	受付日付印
氏　名	八代　太郎　殿	

整理番号：

受付団体名	熊本県八代市